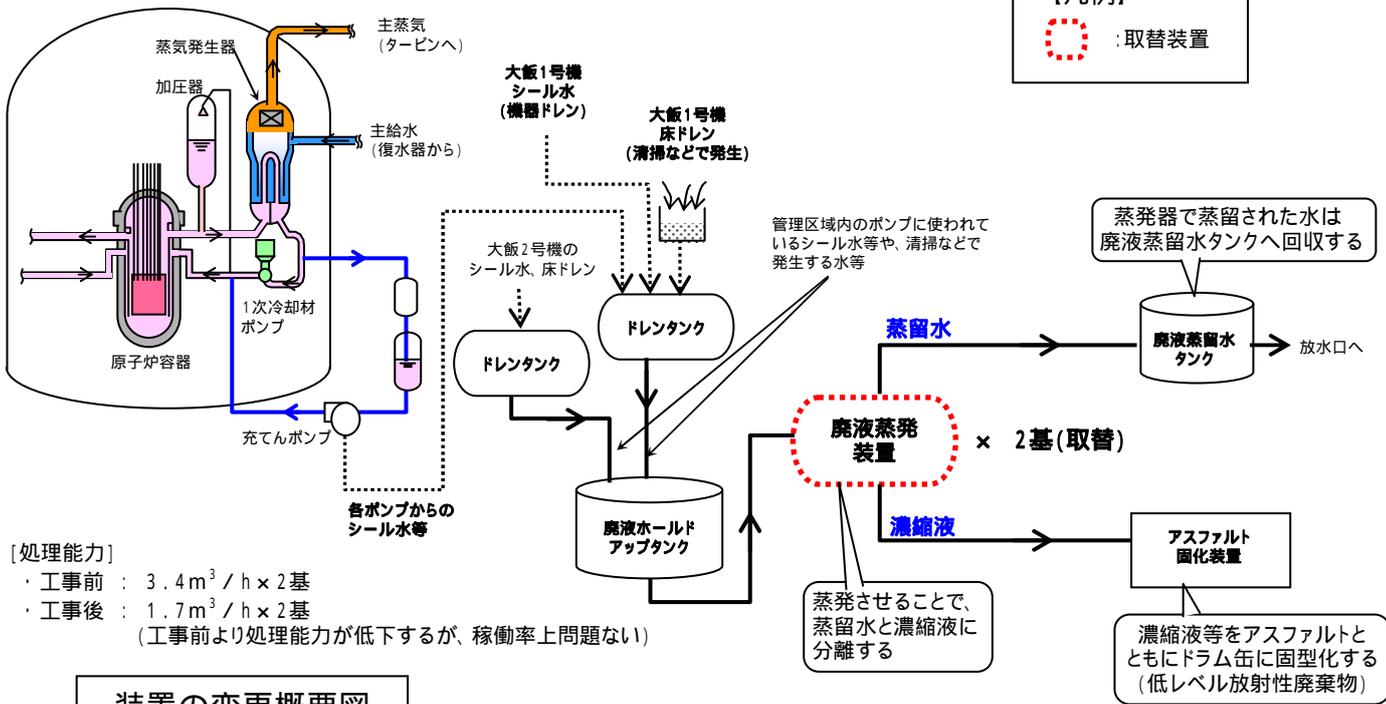


工事概要

信頼性向上の観点から、廃液蒸発装置で処理した濃縮液による応力腐食割れを防止するため、廃液蒸発装置を浸漬式から、濃縮液に含まれる塩素分が濃縮されにくい強制循環式に変更するとともに、濃縮液と接液する箇所の材料をより耐食性に優れた材料(ステンレス鋼SUS304からSUS316L)に変更する。

管理区域内で発生した廃液を、蒸留水と濃縮液に分離する装置。

系統概要図

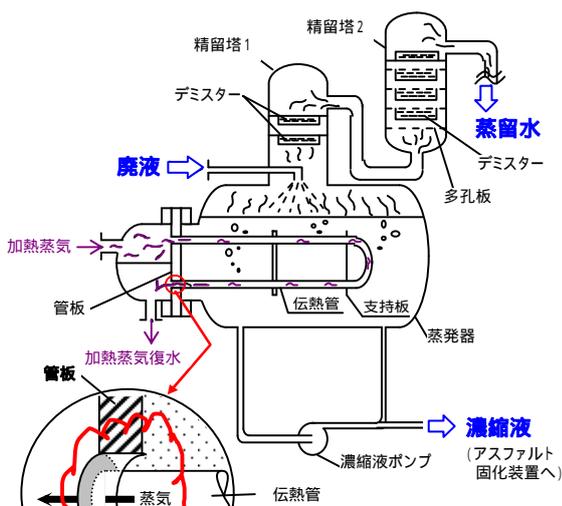


[処理能力]

- ・ 工事前 : 3.4m³ / h × 2基
- ・ 工事後 : 1.7m³ / h × 2基 (工事前より処理能力が低下するが、稼働率上問題ない)

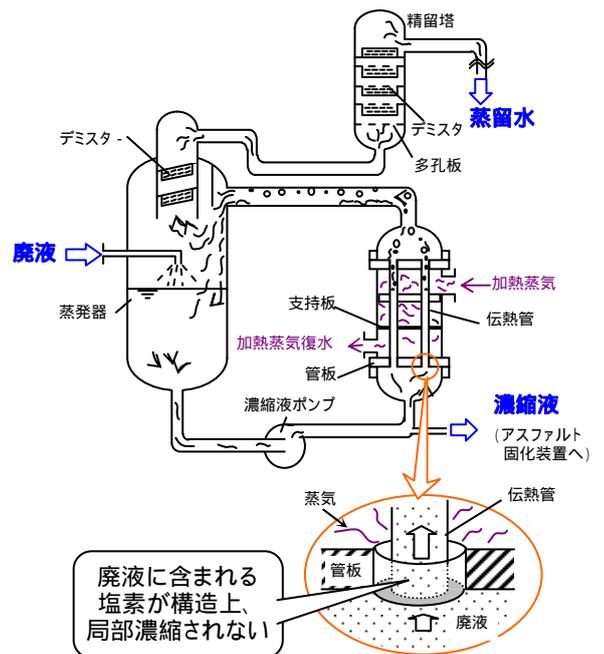
装置の変更概要図

工事前(浸漬式)



管板 - 伝熱管の隙間にて処理液に含まれる塩素が局部濃縮されやすいため、応力腐食割れの懸念がある

工事後(強制循環式)



廃液に含まれる塩素が構造上、局部濃縮されない

【実施状況】

<今年度実施プラント>
 大飯1, 2号機(工期:H21~H24年)

<実施済プラント>
 高浜1, 2号機